

FAX 飛躍

JR東労組東京地本青年部

地本青年部「第35回定期委員会」発言要旨

18春闘を総括し、19春闘に向けてたたかいをつくりだす！

- 賃金学習会を深め、系統別フットサル大会には多くの青年部員が結集した。
- 賃金学習会を、昨年までと異なり分会青年部主体となって取り組んだ。戦術行使を決意する仲間を青年部からつくりだしてきた。
- 所定昇給額を算出基礎とさせなかったのは間違いなく成果。春闘の総括と脱退に伴う組織現実については分けて総括を行うべき！19春闘で大勝利を収めるためにたたかおう！



不当労働行為を許さない！不当労働行為撲滅に向けて！



- 添乗で脱退懇願が行われている。誰を信用していいのかわからない異様な職場風土になっている。安全衛生委員会で指摘しても「相手の受けとめ方による」という回答。
- 社会人採用者を対象に「セミナー」と称して会議が行われる。「社会からどう見られているか考えよう」ということが言われた。自分は社会的判断をして東労組に残っている！
- 青年部も脱退を止める側という決意で、この間分会総対話に臨んできた。人間関係、横のつながりだけで脱退を止めるのは限界である。不当労働行為を世に訴えるなど、前に出たたたかいを要請する！

- 試験結果の透明性を高めることを求めていく。周りから見て、合格にふさわしい人が受からないような組合所属で試験結果を決めるようなことがあれば、徹底的に第三者機関に訴えるなど徹底的にたたかうべき！

組織再生に向けて！「集まる場」づくりの実践！

- 職場活動に集中し、青年部員を安心させようと取り組んできた。情報を作成して総対話への参加を促し、青年部員に本音で語ってもらった。
- レクへの参加者が昨年より増えた。脱退しない理由について「東労組が人間関係をつくってくれる」と語ってくれた。
- 着任してすぐの青年部員に対して「歓迎レク」や「お仕事相談会」などを開催し、信頼関係を構築してきた。信頼関係をベースとした組織力強化が必要！
- 業務課題に取り組み、取り組んだことは情報でスピーディーに全体化してきた。今を一喜一憂しては今後30年働いていくことは出来ない。共にたたかう仲間がいるからこそ、団結を深めることが重要である！



1年間の運動で確認した成果をもとに新たなたたかいに決起しよう！